

女性に対する暴力をなくす運動

—11月12日～25日—

告発と呼ばれるものの周辺で

小川 たまか著
亜紀書房
2022.3 <368.6>

日本では、レイプに遭っても法律が被害者を守ってはくれない。おかしいと声を上げてきた人たちの声はかき消されてきた。性犯罪、性暴力への偏見や誤解をほぐし、やさしい社会を築くための、女性、男性、支援者たちの声の記録。

DV はなおせる!

栗原 加代美著
さくら舎
2021.9 <367.1>

DVをなおすことに成功している著者が、見えにくいDVの実態を紹介し、不健全な価値観や考え方に気づき、思考を変えていく「DV加害者更生プログラム」の内容を解説。パートナーといい関係を築く方法も具体的に示す。

目に見えない傷

レイチェル・ルイズ・スナイダー著、庭田 よう子訳
みすず書房
2020.6 <367.2>

「なぜ逃げないのか」ではなく、どう支援するか。異なる価値観に基づく組織の連携をどうとるか。外からは見えにくいDVの実態を、被害者、加害者、支援組織、警察への取材から明らかにし、解決への道を探る。

フラワーデモを記録する

フラワーデモ編
エトセトラブックス
2020.4 <368.6>

花を持って集まりましょう…あの晩、日本の#MeTooが大きく動いた。2019年4月にはじまった、性暴力に抗議する「フラワーデモ」。性暴力を許さない社会に変えるためフラワーデモに関わった当事者の声の記録。

- DV・ストーカー対策の法と実務 小島 妙子著：民事法研究会<367.1>
- 別の人 カン ファギル著、小山内 園子訳：エトセトラブックス<929.1>
- THE GIRLS アビゲイル・ペスタ著、牟礼 晶子訳、山田 ゆかり訳、井口 博法律監修：大月書店<781.5>
- 災害と性暴力 Nursing Today ブックレット編集部編集、小川 たまかほか執筆：日本看護協会出版会<368.6>
- 言葉を失ったあとで 信田 さよ子著、上間 陽子著：筑摩書房<367.2>
- それはデートでもトキメキでもセックスでもない ロビン・ワーショウ著、山本 真麻訳：イースト・プレス<368.6>
- DV 後遺症に苦しむ母と子どもたち 林 美保子著：さくら舎<367.1>
- 話すことを選んだ女性たち アナスタシア・ミコバ著、ヤン・アルテュス=バルトラン著、清水 玲奈訳：日経ナショナルジオグラフィック社<367.2>

情報ライブラリー ◆このほかにも、たくさんの所蔵があります。また貸出中の図書は予約することができます。
ご利用案内 くわしくは、情報ライブラリーまでお気軽にお問い合わせください。



〒030-0822 青森市中央3丁目17-1 TEL: 017-732-1024 FAX: 017-732-1073
利用時間 9:00~19:00 (日曜・祝日は17:00まで) *休館日 水曜日・年末年始・図書整理日

青森県男女共同参画センター及び青森県子ども家庭支援センターは指定管理者未来へつなぐネットあおもりグループが受託・運営しています。